

第 8 回 日本サービス・ラーニング・ネットワーク 全国フォーラム
【自由研究発表 報告者募集】

日本サービス・ラーニング・ネットワークでは、第 8 回全国フォーラムを立教大学にて対面で開催いたします。第 2・3 分科会では「実践・研究交流」として、サービス・ラーニングに関わる実践や研究を持ち寄り会員間で交流を深めます。会員が蓄積している実践や研究、新たな試みなどを持ち寄りながら、サービス・ラーニングの今と未来について語り合います。

それぞれの分科会の趣旨は、下記のとおりです。初等中等高等教育におけるサービス・ラーニング・プログラムや地域連携事業に関わる教員、職員、受け入れの NPO などの地域組織スタッフの皆さま、第 2、3 分科会へのご報告及び参加への応募をお待ちしています。

<第 2・3 分科会報告者募集>

【日時】 5 月 19 日（日）13 時 30 分~15 時 00 分

【発表資格】 JSLN 会員に限定

【ご応募】 タイトルと 200 字程度の要旨をご提出ください。

【応募フォーム】 <https://forms.gle/gz7yBgcPfANHERqWA>

【締切】 2024 年 4 月 23 日（火）23 時 59 分

	初等中等高等学校での「サービス」と「ラーニング」のデザイン
第 2 分科会	<p>対象：小中高校生が関わる実践・研究</p> <p>初等教育（小学校）、中等教育（中学校及び高等学校）において、「サービスラーニング」と銘打って実践されている取り組みは、必ずしも多くないのが現状である。しかしながら、体験としての「サービス」と学習としての「ラーニング」をいかに統合させて、児童生徒の学習成果をどのように高めるかに関しては、これまでも多くの取り組みがなされてきた。本分科会では、学校教育現場で実践に関わる教員の発表を中心として、初等中等教育においてサービスラーニングを成立させる条件にはどのようなことがあるのか、また、実践を進める上でどのような障壁があり、その障壁を乗り越えるためにどのような手立てが考えられるのか、「サービス」と「ラーニング」のデザインのあり方について、協議を進めたいと考えている。</p>
第 3 分科会	<p>対象：大学生が関わる実践・研究</p> <p>大学教育の中で実践されているサービス・ラーニング・プログラムや地域連携事業のデザインについて、それぞれの取り組みを共有する。どのような社会の変容を目指し、何をプログラム目標において、今の実践に取り組んでいるのか。目標を達成するために、どんな人々・組織と、どういった地域・コミュニティでの活動を選択しているか。そして活動と学びをつなげる「リフレクション」を、いつ、何を問い、誰とともに行なっているのか？ 報告者からの発表を受けて、後半には参加者同士で、実践の手応えや課題など経験共有をできればと考えている。</p>